

「励ましを受け、そして与えよう！」

～人のために尽くした主～

「シモン、シモン。悪魔は、あなたを激しい試みに遭わせようとして、ついにその目的を達しました。しかし、わたしはあなたの信仰が無くなってしまわないように、あなたのために祈っています。ですから、あなたはまたきっと立ち直ります。その時には、信仰の弱っている兄弟たちを力づけてあげなさい。」

ルカ福音書22章31・32節 [現代訳]

ヨーロッパはスウェーデンに10ヵ月留学していた、滝沢信行兄が帰ってきました。

今は欧米では卒業式のシーズンでもあります。アメリカのMIT(マサチューセッツ工科大学)の卒業式でアップルの現在の最高責任者であるティム・クック氏がスピーチした内容がネットに流れていました。そのタイトルは”人のために尽くすことで人生の目的は見つかる”。

人のために尽くすということが人生の基本とならなければ、いつの間にか私たちの人生は自分自身のための人生となってしまう。イエス様は神様のためにその使命を果たしたお方です。その使命とは、人のために自分を捧げ尽くすということでした。

ペテロもイエス様のために自分の命を捨てようとさえしましたが、彼はその目的を達成できなかっただけでなく、自分の身を守るために、最も大切に思ってきた主ご自身を拒絶してしまいました。そのことは彼の人生、彼の考え方、彼自身の今まで生きてきたすべてを否定させられるような大失敗になりました。“人のための尽くす”と言っても、たった一人の人のために尽くすことすらできませんでした。

しかし、主ご自身は前々から彼の失敗を見抜いていました。そして、前もって彼のために祈り、励ましました。私たち人間は励ましを必要とし、祈りを必要とする者です。誰一人、それを必要としない人はいません。人との関係、家族、教会、心から語り合うことのできる友人たち…。そして、神様ご自身との関係の中で与えられます。

そして、誰もそういう人がいない人であっても、すべての人に神様の限りない愛は注がれています。そのことを言葉だけでなく、伝えていくのが私たちの使命です。

午後、サントミュージゼで伝道コンサートが行われます。この働きが神様の本当の愛が失われた魂に届くものとなるようにお祈りください。

マザー・テレサのことは「私はね、どんな時にも笑顔になります。なぜなら、私の笑顔の一つ一つで、今、神様の元に召される魂が、神様の御手に抱かれるように、神様とお約束してあるのです。どんな時でも嫌な顔はしない。面倒くさそうな顔はしない。その代わりに、神様お約束ですよ。笑顔をするたびに、一人ちゃんと天国へ入れてやってください、と」。笑顔だけでも大いなる救いにつながると信じて捧げていたマザーの心を私たちもいただきましょう！